

慣用句(初級)プリント14

月 日 名前

問1 強いチームと試合をして（ ）を借りる。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 背 2. 腕 3. 足 4. 胸

問2 「口を挟む」の意味はどれですか？

1. 相手を言いくるめて自分の思い通りにする 2. 他人の秘密をうっかり話してしまう 3. 他人の話の途中で割り込んで意見を言う 4. 自分の意見を言わずに黙り込む

問3 「気が短い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 気が短いので、少し待たせるとすぐ怒る。 2. 髪の毛を短く切ったので、気が短い。 3. 気が短いので、時間をかけてゆっくり料理する。 4. 気が短いから、長い文章を読むのが得意だ。

問4 ぼくは甘いものに（ ）がない。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻 2. 目 3. 耳 4. 口

問5 「根も葉もない」の意味はどれですか？

1. 準備が足りないこと 2. とても大切なものがあること 3. 植物が枯れてしまうこと 4. 全く根拠がないこと

問6 「足を引っ張る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 転びそうな友達の足を引っ張る。 2. ストレッチで、自分の足を引っ張る。 3. ミスをしてチームの足を引っ張る。 4. かけっこで勝つために、相手の足を引っ張る。

問7 「二の足を踏む」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 階段で二の足を踏んで転んでしまった。 2. 二の足を踏んでから走り出す準備をする。 3. お化け屋敷に入るのに二の足を踏む。 4. かけっこで二の足を踏んで負けた。

問8 「耳が痛い」の意味はどれですか？

1. 大きな音を聞きすぎて、耳の穴が物理的に痛むこと 2. 相手の話がとても面白くて、ずっと聞いていたいこと 3. 秘密の話を聞いてしまい、困ってしまうこと 4. 自分の欠点や弱点を指摘されて、聞くのがつらいこと

問9 「肩を持つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 肩を持つとこりやすい。 2. 悪いことをした友人の肩を持つ。 3. 肩を持つように服をかける。 4. 重い荷物なので肩を持つ。

問10 「猫の手も借りたい」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 文化祭の準備で忙しく、猫の手も借りたい気分だ。 2. 猫の手も借りたいから、猫に手伝ってもらおう。 3. 猫の手も借りたいほど、暇で時間を持て余している。 4. 猫の手も借りたいので、猫を飼うことにした。

問11 「目を皿にする」の意味はどれですか？

1. 相手の欠点を指摘して、厳しく問い詰めること 2. 怒りで目を吊り上げ、相手を激しくにらみつけること 3. 恥ずかしくて、顔を赤くして下を向いてしまうこと 4. 何かを見つけようとして、目を大きく見開いて熱心に見ること

問12 「肩の荷が下りる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 肩の荷が下りるようにリュックを置く。 2. 肩の荷が下りて重くなった。 3. テストが終わり肩の荷が下りた。 4. 重い荷物で肩の荷が下りる。

問13 彼は（ ）が軽いので、大事な秘密は教えないほうがいい。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 口 2. 耳 3. 目 4. 鼻

問14 「腹を立てる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. おなかが痛いので、腹を立てて寝ている。 2. 友達の言葉に、つい腹を立ててしまった。 3. 食べすぎたので、腹を立てて苦しい。 4. 腹を立てて、おなかの筋肉を鍛える。

問15 「顔が広い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 顔が広いので、帽子がすぐ脱げる。 2. 町内の知り合いが多く、彼は顔が広い。 3. たくさん食べて顔が広くなった。 4. 鏡を見て、自分の顔が広いと悩む。

問16 先生の解説を聞いて、（ ）からうろこが落ちた。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 口 2. 鼻 3. 目 4. 耳



慣用句(初級)プリント14 答え合わせ・解説

問1 答え 4 胸

「胸を借りる」の「胸」の部分が入ります。意味は「自分より実力が上の相手に練習の相手をしてもらおう」です。

問2 答え 3 他人の話の途中で割り込んで意見を言う

「口を挟む」は「他人の話の途中で割り込んで意見を言う」という意味です。

問3 答え 1 気が短いので、少し待たされるとすぐ怒る。

「気が短い」の正しい使い方は「気が短いので、少し待たされるとすぐ怒る。」です。意味は「すぐにいらいらして、がまん強く待つことができない」です。

問4 答え 2 目

「目がない」の「目」の部分が入ります。意味は「あるものに夢中になるほど好きだ」です。

問5 答え 4 全く根拠がないこと

「根も葉もない」は「全く根拠がないこと」という意味です。

問6 答え 3 ミスをしてチームの足を引っ張る。

「足を引っ張る」の正しい使い方は「ミスをしてチームの足を引っ張る。」です。意味は「仲間の成功や前進をじゃまする」です。

問7 答え 3 お化け屋敷に入るのに二の足を踏む。

「二の足を踏む」の正しい使い方は「お化け屋敷に入るのに二の足を踏む。」です。意味は「ためらって、なかなか決心がつかない」ことです。

問8 答え 4 自分の欠点や弱点を指摘されて、聞くのがつらいこと

「耳が痛い」は「自分の欠点や弱点を指摘されて、聞くのがつらいこと」という意味です。

問9 答え 2 悪いことをした友人の肩を持つ。

「肩を持つ」の正しい使い方は「悪いことをした友人の肩を持つ。」です。意味は「味方をしてひいきする」です。

問10 答え 1 文化祭の準備で忙しく、猫の手も借りたい気分だ。

「猫の手も借りたい」の正しい使い方は「文化祭の準備で忙しく、猫の手も借りたい気分だ。」です。意味は「非常に忙しくて、誰でもいいから手伝ってほしい状態である」です。

問11 答え 4 何かを見つけようとして、目を大きく見開いて熱心に見ること

「目を皿にする」は「何かを見つけようとして、目を大きく見開いて熱心に見ること」という意味です。

問12 答え 3 テストが終わり肩の荷が下りた。

「肩の荷が下りる」の正しい使い方は「テストが終わり肩の荷が下りた。」です。意味は「責任や負担から解放されてほっとする」です。

問13 答え 1 口

「口が軽い」の「口」の部分が入ります。意味は「秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう」です。

問14 答え 2 友達の言葉に、つい腹を立ててしまった。

「腹を立てる」の正しい使い方は「友達の言葉に、つい腹を立ててしまった。」です。意味は「怒りの感情をあらわにする」です。

問15 答え 2 町内の知り合いが多く、彼は顔が広い。

「顔が広い」の正しい使い方は「町内の知り合いが多く、彼は顔が広い。」です。意味は「多くの人と知り合いで、交際範囲が広い」です。

問16 答え 3 目

「目からうろこが落ちる」の「目」が入ります。意味は「何かのきっかけで、急に物事の道理がよく分かるようになること」です。